

広島で平和を考える	清水 文裕	2年	前期	長束
Education of Peace in Hiroshima		2単位	選択	講義

1. 授業の目的(ねらい)

(a) 平和を考えることは、命の大切さを見詰め直すことです。科目名にサブタイトルを付けるなら「命－人間が人間らしく生きるために」。原爆は人間と都市にどのようなことをもたらしたのかを科学的に検証します。広島で学ぶ意義を認識し、地域に貢献できる教育力・専門力を高めてください。
 (b) 核分裂の発見によって、国際社会はどのように変化したのでしょうか。冷戦中の世界、冷戦後の世界、海外の原爆観などを多角的に学び、平和について考えを深めてください。核時代をどう生きるかを一緒に考えましょう。

2. 授業計画

回	授業のテーマ	講義内容	授業目標	教材
1	きのこ雲の下で そのⅠ 初期の手記を読んで考える	1949年に書かれた手記「原爆以後」と、1950年執筆の体験記「爆心に生き残る」の2編を読み、きのこ雲の下でどんなことがあったのかを考える。	広島で平和について学ぶ意義を認識する。初期の手記の特徴をつかむ。	プリントと配布資料
2	きのこ雲の下で そのⅡ 1枚の写真からどんなメッセージが聴こえますか？	熱線を浴びて大やけどをした少女の写真。よく観察すると何が見えてくるか？ 被写体の少女が、あなたに訴えたいことは？	原爆の人体影響を科学的・論理的にとらえる力をつける。	プリントと配布資料
3	被爆地復興 そのⅠ 雑草の芽吹きにあなたは感動したことがありますか？	75年間、草木も生えないと言われた被爆地。市民生活などの写真20枚と被災後の年表から、復興の足跡を探る。廃虚に芽吹いた雑草を被爆者はどう受け止めたか？	被爆した人たちが復興へ立ち上がった原動力は何だったのかを理解する。	プリントと配布資料
4	被爆地復興 そのⅡ 広島平和記念都市建設法と初代公選市長浜井信三氏	「生きる勇氣と希望を広島は与えてくれた」と内戦後のカンボジアから広島アジア大会に出場した選手団が語った。その都市を築いた源泉を浜井氏の著書で読み解く。	1人の政治家の姿を通して、広島が平和を象徴する都市となった足跡を学ぶ。	プリントと配布資料
5	放射線と人間 原爆で体と心に浴びたキズ	昭和30年代に被爆二世の出産に立ちあった助産師さんの証言と、病理学者の著書を教材に使い、放射線が人体にどのような影響を与えたかを検証する。	現在の核兵器の威力と重ね合わせ、ものごとを多角的に考える力を伸ばす。	プリントと配布資料
6	広島平和記念資料館見学	土曜日と日曜日に計画します。都合のよいほうに参加してください。 ※感想文を提出	1回目から5回目までの授業の学びを体系的に整理する。	参考資料を事前配布
7	ゲストスピーカー講話	被爆された方の話を聴く。 ※感想文を提出	原爆投下後69年。被爆者のメッセージをあなたの生き方に照らして受け止める。	プリントと配布資料
8	核時代の幕開け 核分裂の発見と冷戦時代の世界	人類は核戦争の危機に何度も直面した。朝鮮戦争、キューバ危機、ベトナム戦争を振り返り、なぜ核兵器の使用をかるうじて回避できたのかを考察する。	過去の出来事を、私たちが生きている時代と社会に結び付けてとらえる力を高める。	プリントと配布資料
9	冷戦終結後の国際社会 「核なき世界」の課題	オバマ米大統領が核兵器のない世界を提唱した「ブラハ演説」と、北朝鮮の核開発に対する国際社会の動向について解説し、冷戦終結の意義と課題を探る。	「人間の運命は私たちが自ら切り開くものです」（オバマ演説の一節）を理解する。	プリントと配布資料
10	核兵器をめぐる各国の動向 「世界秩序」構築の道筋は？	核兵器を放棄した国、持ち続ける国、核の傘に頼る国、開発を目指す国…。非核地帯の広がりも検証し、核の脅威を断つための方策を考える。	被爆地・被爆国が国際社会で果たすべき役割について、考えを深める。	プリントと配布資料
11	米国の原爆観 「100万人の命を救った」	米国の国立博物館が計画した原爆展に退役軍人らが「日本に同情的すぎる」と反発し、中止された。当時の新聞記事を教材に使い、日本とは異なる原爆観を分析する。	歴史観のミゾを埋めるためにどのような視点・取り組みが必要かを見つける。	プリントと配布資料
12	アジアの原爆観 日本軍の「加害」を踏まえて	日本が侵攻した地域では「原爆投下によって植民地支配から解放された」と受け止められている。マレー半島の住民虐殺を事例にこれまでの歴史認識を再考する。	被爆地が求める核兵器廃絶がいまだに実現しない理由を多角的に考える。	プリントと配布資料
13	戦争と新聞 歴史を検証する力に磨きを	ミッドウェー海戦についての大本営発表、特攻隊賛美、新型爆弾対策などについての戦時中の新聞を読み、事実でない報道に走った背景を探る。	歴史を検証する力を磨く。情報時代の今、メディアへの接し方・活用法を考える。	プリントと配布資料
14	広島と原発 原発事故被災地との連帯	1950年代半ば、米国は広島に原子力発電所を建設しようとした。その意図を考える。併せて、福島原発事故の現状を学び原子力の「平和利用」について解説する。	原子力の功罪について認識を深め、1人ひとりの日々の暮らしと生き方を見直す。	プリントと配布資料
15	人間が人間らしく生きるために 原爆は昔話か？	記録映画『ヒロシマ 母たちの祈り』を鑑賞し、原爆と人間・被爆地の役割と課題・広島で学ぶ意義をグループミーティングでまとめる。	原爆を昔話で終わらせないためにあなたができることを具体的に考える。	プリントと配布資料
16	試験	なし。		

3. 最終到達目標	4. 評価方法	5. 学修法(予習・復習等)
教育者を志す学生として、広島の大学生として、子どもたちに事実に基づいて平和を伝える力を磨く。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の「記入用紙」……………計50% ・資料館見学の感想文……………15% ・ゲストスピーカー講話の感想文……………15% ・期末レポート……………20% ※毎回の授業の取り組みを重視します。	(a) シラバスを毎回読んだうえで授業に出席してください。 (b) 配布物は持ち帰って読み直しましょう。授業の時には気づかなかった発見がきっとあります。それを次の「記入用紙」に書いてもらいます。

6. 教科書・参考図書等

教科書は使いません。

7. その他(履修の要件等)

ニュース運動型の講義とするため、授業計画は変更する場合があります。

8. 学習成果との関連(短大のみ)

知識・理解	技能	態度・志向性	総合的学習・思考力
-------	----	--------	-----------